

開かれた学校運営の橋渡し役に

現在、教育に関わるすべての人の実現を図ることが求められている。ととって、変化の激しいこれからの社会を生きていく子供たちに「生きる力」を育むという理念のもとに、知識や技能の習得とともに、思考力・判断力・表現力などに、身に付けることが重要となっている。

しかし、多くの地域・企業等の方々が、学校や子供たちの教育に貢献するのを願う一方、その教育力を学校現場に提供するノウハウが少なく、学校教育に生かすのは容易ではない。また学校においても、日々の多様な業務があり、独自に外部人材を活用するのは難しい状況である。

この「生きる力」を育むためには、各学校は、地域の人的・物的資源の活用や社会教育との連携により「社会に開かれた教育課程」

東京都墨田区では、この課題を

多様な先生に学ぶ

学外人材活用と体制



NPO法人スカイ学校支援ネットワークセンター
理事長 森本 芳男

①

事業が委託されている。

ネットワーク本部は、学校のニーズにこたえるべく、多くの地域・企業等の方々と交流・折衝しながら協働して子供たちに有益な多様な出前授業メニューを制作し、組織的・計画的に広報・周知するなど、学校と地域・企業等との橋渡しを行ってきた。

その結果、開かれた学校運営が進み、子供たちは、教員以外の多くのの方々にも見守られながら新たな学びを体験し、学ぶ楽しさや気づき・発見などの喜びの機会を得るなど、有益な教育活動が展開されている。

地域・企業等の方は、学校で授業を行うことで活動の場が広がり、自らの教育力を高め、地域ぐるみで子育てを行うことにも役立ててきた。

墨田区学校支援ネットワーク事業の特色ある内容・システムが教育活動に有効に活用される中で、支援者・協力ボランティアの輪も広がり、発足8年目の平成28年度には、出前授業メニュー数304、協力ボランティア数289、授業実績数延べ355校、受講した児童生徒数は延べ2万7455人と飛躍的に拡大し、高い評価が得られている。